

第7期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価書（令和2年度下半期）

（4）介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

評価項目	分野	年間 目標値	年間 実績値	下半期 実績値	達成度
1. サービス提供体制の支援					
⑱生活支援サービス担い手研修修了者数（人） ※累計値	住まい 地域	158	57	57	D
		感染症対策で今年度の開催を中止することとし、新しい生活様式での実施方法について検討ができなかった。			
2. 介護予防事業の推進					
⑲介護予防教室（運動・栄養）開催数（回） ※年間合計	介護	144	144	72	A
		新しい生活様式下でも安心して参加できるよう工夫したことで、安定した事業実施ができた。			
⑳介護予防教室（口腔）開催数（回） ※年間合計	介護 医療	7	0	0	D
		動画を公開する等代替事業を実施したが、教室自体の開催には至らなかった。講座方式への変更も含め、年度内に調整を行う。			
㉑地域はつらつ講座開催数（回） ※年間合計	介護 地域	84	8	8	C
		事業再開を図ったが、安全面を考慮して依頼が減少しているため、利用者が安心して活用できるよう今後の事業の在り方を再考する必要がある。			
㉒地域サロン等応援事業開催数（回） ※年間合計	住まい 地域	84	2	2	D
		新しい生活様式での実施方法について検討が必要。			

（裏面へ続く）

評価項目	分野	年間 目標値	年間 実績値	下半期 実績値	達成度
3. 生きがいづくり・社会参加の支援					
⑳学びキャンパスせとで講師登録している65歳以上の市民の数(人) ※年間合計	地域	50	8	8	C
		新しい生活様式下での事業実施に向けて講師セミナーを行った。			

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

C

担当部署評価

上半期事業実施ができなかったことを踏まえ、新しい生活様式下での事業実施に向けて工夫が進んでいる。どの事業も高齢者の能力維持・改善、介護予防において重要な役割を果たしているため、開催方法などの工夫を行い安定した事業実施に努めたい。

評価委員会評価

上半期において実績値0となった事業が多かったが、下半期においては感染症対策やプログラム内容の見直し等により再開できたということは、回数は少なくとも評価できる点である。新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中、今後も感染症対策を講じながらの事業実施方法を検討してほしい。